

Business Certificate news

No.: TCCI-0037

Date: 2013年4月15日

取引先等への放射性物質に係る証明ひな型の一部修正について

2011年4月1日付 Business Certificate Newsでご案内いたしました、日本国政府が公表する環境放射能水準調査結果を引用する「輸出者宣誓書ひな型（タイトル ①環境放射線水準のお知らせ ②環境放射線水準に係る証明）」につき、一部修正を行いましたのでお知らせいたします。

今後の「輸出者宣誓書」へのサイン証明ご申請は、別紙1、3掲載の修正文面にて行なって頂くようお願いいたします。

1. 修正内容概略：

新： 「原子力規制委員会が公表する-----環境放射能水準報告書」数値を引用

旧： 「文部科学省が公表する-----環境放射能水準報告書」数値を引用

2. 修正の理由：

放射線モニタリング業務が、2013年4月1日付で文部科学省から原子力規制委員会に移管され、モニタリング情報も同委員会のウェブサイトで公表されることとなったため。

3. ひな型修正箇所：（2つのひな型共通）

■英文： 本文2行目

新： published by Nuclear Regulation Authority of Japan, ●●●
Corporation -----

旧： published by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan, ABC Corporation -----

■和訳：

新： 日本国原子力規制委員会が公表する都道府県別環境放射能水準報告書に
従い-----

旧： 日本国文部科学省が公表する都道府県別環境放射能水準報告書に
従い

4. 関連ウェブサイト：

従来の文部科学省のサイトから、以下の原子力規制委員会のサイトに変更になりました。 使い方は従来通りです。

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

(SAMPLE)

別紙 1 : 英文サンプル
【Notice 版】

, 2013

To:

NOTICE OF ENVIRONMENTAL RADIOACTIVITY LEVEL

In accordance with the official Environmental Radioactivity Level by Prefecture report published by Nuclear Regulation Authority of Japan, ●●●Corporation hereby notifies you of recent environmental radioactivity level monitoring results in the principal city of the prefecture in which the manufacturer produced the cargo for exportation described below. This is one of the most reliable sources of information on environmental radioactivity level in Japan.

1. Monitoring date:
2. Monitoring site (city closest to manufacturer's location):
3. Monitoring results:
 - Maximum radiation dose: μ Sv/h
 - Minimum radiation dose: μ Sv/h
4. Name and address of exporter:
5. Name and address of importer:
6. Invoice No.:
7. Description and quantity of cargo for exportation:
8. City of manufacturer's location:
9. Date of scheduled shipment(on or about):

●●● Corporation

(Signature)

Taro Yamada
General Manager

(Sample) (青字は記載方法の説明)

別紙2：【Notice版】
記載要領
※日本語では申請できません

宛先：輸入者名もしくは各位でも可

日付

環境放射能水準のお知らせ

日本国原子力規制委員会が公表する都道府県別・環境放射能水準報告書に従い、●●●株式会社はここに、下記の輸出貨物の生産地所在県の主要都市における、最近の環境放射能水準調査結果をお知らせいたします。本情報は、日本における環境放射能水準に係る、最も信頼できる情報のひとつです。

1. 放射能調査日：原子力規制委員会の下記サイトから出荷日（予定日）になるべく近い日を選択してください
<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>
2. 放射能調査場所（生産地から最も近い場所）：生産地所在県内の場所。国名、県名、都市名まで記載
3. 放射能調査結果：当該調査日、調査場所における最大値、最小値を記載
最大値 μ Sv/h
最小値 μ Sv/h
4. 輸出者名、住所：国名から番地まで記載
5. 輸入者名、住所：国名から番地まで記載
6. インボイスNo：
7. 輸出貨物名、数量：
8. 輸出貨物の生産地：国名から番地まで記載
9. 出荷予定日：記載は任意

サイン証明としての商工会議所の認証欄
(縦7cm×横10cmのスペースが必要)

登録どおりの英文社名

(Signature)

ネームタイプ
登録どおりの役職名

(SAMPLE)

別紙3 : 英文サンプル
【Certificate 版】

, 2013

To:

CERTIFICATE OF ENVIRONMENTAL RADIOACTIVITY LEVEL

In accordance with the official Environmental Radioactivity Level by Prefecture report published by Nuclear Regulation Authority of Japan, ●●● Corporation hereby notifies you of recent environmental radioactivity level monitoring results in the principal city of the prefecture in which the manufacturer produced the cargo for exportation described below. This is one of the most reliable sources of information on environmental radioactivity levels in Japan.

In addition to the above, ●●● Corporation certifies that the annualized radiation dose in Item 3-b. is below the individual dose limit (public exposure) in a year (cites in International Commission on Radiological Protection (ICRP) publication 103)

1. Monitoring date:
2. Monitoring site (as described above):
3. Monitoring results:
 - a. Average radiation dose : μ Sv/h
 - b. Annualized radiation dose(a. x 24h x 365d): μ Sv/y
4. Individual dose limit (public exposure) in a year (cites in ICRP publication 103):
1,000 μ Sv/y
5. Name and address of exporter:
6. Name and address of importer:
7. Invoice number.:
8. Description and quantity of cargo for exportation:
9. City of manufacturer's location:
10. Date of scheduled shipment(on or about):

●●● Corporation

(Signature)

Taro Yamada
General Manager

(Sample) (青字は記載方法の説明)

宛先： 輸入者名もしくは各位でも可

別紙4：【Certificate版】
記載要領
※日本語では申請できません

日付

環境放射能水準に係る証明

日本国原子力規制委員会が公表する都道府県別・環境放射能水準報告書に従い、●●●株式会社はここに、下記の輸出貨物の生産地所在県の主要都市における、最近の環境放射能水準調査結果をお知らせ致します。この情報は日本における環境放射能水準に係る最も信頼できる情報のひとつです。また上記に加え●●●株式会社は、この水準値は公衆被ばくの個人線量限度<国際放射線防護委員会（ICRP）2007年勧告>を下回るものであることを証明いたします。

1. 放射能調査日：原子力規制委員会の下記サイトから出荷日（予定日）になるべく近い日を選択してください。
<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>
2. 放射能調査場所（生産地から最も近い場所）：生産地所在県内の場所。 国名、県名、都市名まで記載
3. 放射能調査結果：当該調査日、調査場所における24時間平均値を記載
 - a 調査日における24時間平均値 $\mu\text{Sv/h}$
 - b 年率換算値($a \times 24\text{h} \times 365\text{日}$) $\mu\text{Sv/y}$(注) 上記bの年間換算値が下記4のICRP勧告値を上回る場合は、証明センターまでご相談ください。
4. 公衆被ばくの個人線量限度（ICRP2007年勧告）： 1,000 $\mu\text{Sv/y}$
5. 輸出者名、住所： 国名から番地まで記載
6. 輸入者名、住所： 国名から番地まで記載
7. インボイスNo：
8. 輸出貨物名、数量：
9. 輸出貨物の生産地： 国名から番地まで記載
10. 船積予定日： 記載は任意

サイン証明としての商工会議所の認証欄
(縦7cm×横10cmのスペースが必要)

登録どおりの英文社名

(Signature)

ネームタイプ
登録どおりの役職名